

熊

絞

り

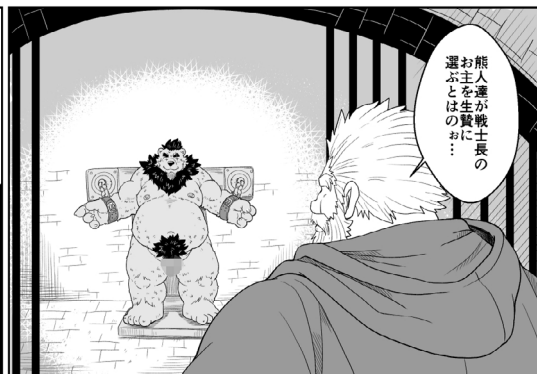


熊

絞

り







企むも何も…
約束は守るぞ？

熊人1人と引き換えに
人族と熊人の争いは終わる…

そうか…それならやはり
戦うしか能のない俺が
来たのは順当だろう…



…それに俺なら
ここから抜け出せることが
出来るかもしれないしな…



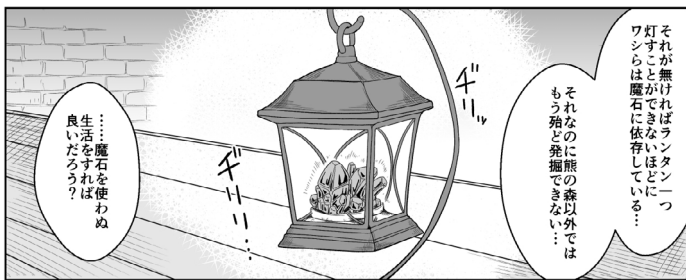


ワシらの国では
魔石ですべてを
動かしておる…



そのとおり！

くそ…貫通したか…
これで暫く
剣が握れんか…



それが無ければランタン一つ
ワシらは魔石に依存している…

それなのに熊の森以外では
もう殆ど発掘できない…

…魔石を使わぬ
生活をすれば
良いだろう？



何を言っておるのだ
元の原始的な生活に
戻れるわけがないじやろう？

トリスッ



それにワシらと熊人は
すでに敵対関係に
なっております…

魔石の力を使わなければ
熊人の筋肉に杭を打つなど
不可能じゃろう？

ヒキ

ヒキ



自分の腕に魔石を…
この異常者が…



さて…ではどのような
お主を魔石の代わりに
するか…

アッ
アッ

アッ

お主の体を
作り変えれば良い

な...なんだと?

知っておるか?
熊人の精液には高濃度な
魔力が混じっておる

それは魔石の
代用としては
十分なほどに...

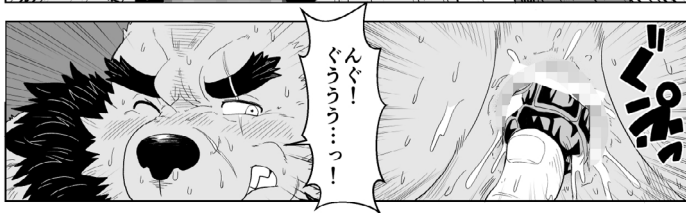
...俺から絞り
とるつもりか?

半分正解じゃ...
これはワシが魔石で
作った装飾でな...

カニ

ギョ

ヒョ



うおおおっ!?

な...っ
こんな...っ!
な...っ
こんな...っ!

おお...さすが熊人!
人の何倍も
膨れ上がりましたのお

なんと温しい!
まるで木の幹の
ようではないか!

ほう...

んぐんぐん!!



まあ大きさに比例して
感度も上がっておるからな
仕方あるまい

ビュッ

ビュ

じゃが無駄に
もったいないの…

ぎゃあ！

カッ
カッ
カッ

はいっ！

これお前たち
根本をしばりなさい

はっは！
ちよつと触っただけで
濡らしおった！

ああ！！
ああ！！
ああ！！

ビュ

コンクン

ド
ド
ド
ド



くそ…一瞬
意識がとんだ…
魔石のせいとはいえ
なんて無様な…っえ

なんとか魔石を外して
逃げ出さねば…

びゃ

びゃ

びゃ



おお…これは…
量も質も
想像以上じゃのお…

こいつにすべて
絞りつくされてしまう
…

今日はここまでじゃ
こやつに付けた魔石が
安定するまで様子を見るぞ…